Ⅳ．地域医療及び福祉の向上

事業名：⑭認知症総合サポート事業

事業責任者：医学部　堀川　悦夫

【事業のあらまし】

認知症の方やそのご家族の支援には、医療、介護、そして地域要因を連携・統合して支援していくことが必要であり、認知症に関する啓発活動、医療から介護への連携、認知症に対する実践的支援、そして認知症の方に関する支援のステムや機器の開発などの、地域ぐるみの体制が必要である。

【平成２８年度の取組】

①認知機能低下高齢者の運転行動の数量化のために、注意機能や遂行機能の経時的変化を測定するために必要な繰り返し効果を軽減した神経心理学的検査の開発を行った。

②実際の運転行動評価のために有用な実車評価に関して、自動車学校教員による評価の数量化の手法とその報告法について改良を行った。

③佐賀県警と共同研究を行い交通事故発生率ワースト１脱却の啓発活動を行っている。

④江北町の民生委員を対象として、認知症サポーター養成講座を開講し、そのなかで交通事故防止について解説を行った。

⑤上記の活動のとりまとめを行い、その成果についてシンポジウムを開催し、各方面からのシンポジストによる講演によって、情報交換と市民への啓発活動を行った。

運転行動記録器

実車運転評価の数量化

江北町認知症サポーター養成講座

交通事故防止シンポジウム